

8. 区債現在高と基金現在高の推移

区債現在高は平成14年度以降、減少が続いており、前年度に比べ約36億円減少した。一方、基金現在高は平成17年度以降、増加していたが、平成22年度は前年度に比べ約22億8千万円減少した。

区債現在高は、平成14年度以降、毎年減少し、平成22年度は約224億円で、前年度と比較すると約36億円の減となった。これは、元金償還の進捗による減である。

区債現在高の構成では、平成6年度から平成18年度までに発行した減税補てん債等の比率が、全体の現在高の減により、平成22年度は0.3ポイント増加し、22.91%となった。

基金現在高は、平成17年度以降、増加が続いていたが、平成22年度は、公共施設建設基金や都市整備基金などの取り崩しを行い、前年度に比べ約22億8千万円の減、約317億円となった。

区債現在高と基金現在高の推移

単位：百万円

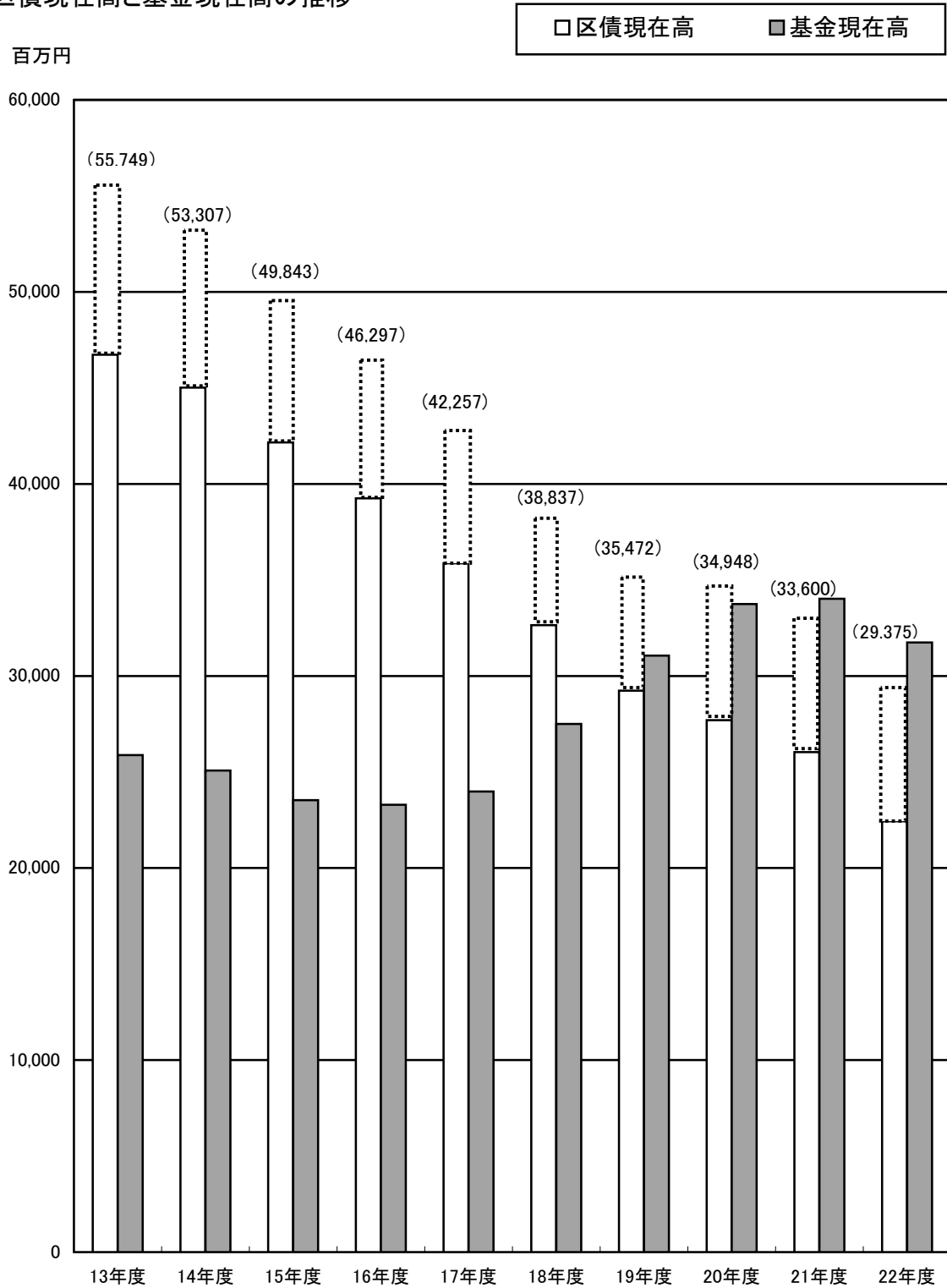
区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
年度末区債現在高	46,730	45,013	42,159	39,253	35,868	32,649	29,235	27,696	26,034	22,435
(対前年度増減)	(499)	(△ 1,717)	(△ 2,854)	(△ 2,906)	(△ 3,385)	(△ 3,219)	(△ 3,414)	(△ 1,539)	(△ 1,662)	(△ 3,599)
うち減税補てん債等	8,674	8,618	8,509	8,460	8,299	7,974	7,310	6,617	5,887	5,139
減税補てん債比率(%)	18.56	19.15	20.18	21.55	23.14	24.42	25.00	23.89	22.61	22.91
年度末基金現在高	25,878	25,075	23,536	23,294	23,985	27,501	31,058	33,743	34,024	31,747
(対前年度増減)	(△ 2,100)	(△ 803)	(△ 1,539)	(△ 242)	(691)	(3,516)	(3,557)	(2,685)	(281)	(△ 2,277)
公共施設建設基金	10,142	10,039	9,819	9,600	9,384	11,403	12,940	13,541	13,648	12,732
都市整備基金	3,160	2,858	1,723	1,523	1,524	1,527	1,534	1,543	1,551	988
環境整備基金	1,997	1,952	2,143	2,144	1,950	2,037	2,126	2,216	2,303	2,237
財政調整基金	3,751	3,430	3,202	3,469	4,561	5,937	7,823	9,781	9,831	9,624
減債基金	4,423	4,424	4,425	4,426	4,428	4,437	4,458	4,486	4,513	4,541
災害対策基金	309	309	309	309	309	310	311	313	315	316
その他	2,096	2,063	1,915	1,823	1,829	1,850	1,866	1,863	1,863	1,309


※その他基金：社会福祉基金・奨学基金・教育振興基金・緑化推進基金・国際交流親善基金・定住基金

《参考》区債現在高の推移（一般会計+特別会計）

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
年度末区債現在高	55,749	53,307	49,843	46,297	42,257	38,837	35,472	34,948	33,600	29,375

区債現在高と基金現在高の推移



※  部分は、一般会計と特別会計分を集計した場合の推移